

社会福祉法人光朔会オリンピア 議事録

館長	部門長	リーダー

記入日： 2016年 8月 13日

会議名	グループホームオリンピア兵庫 第61回運営推進会議	記入者	稲田 麻里 印
日時	2016年 8月 13日(土)10:00~11:00	場所	Cafe Olympia
参加者	<p>【入居者】(ユニット1)三橋アサエ様、嶋田尚子様 (ユニット2)長谷伸子様、吉本美齡子様</p> <p>【ご家族】天野淳子様(吉本美齡子様)</p> <p>【地域包括】木村道子様(浜山あんしんすこやかセンター)【地域代表】山本知枝(Cafe Olympia・店長)</p> <p>【知見を有する者】吉岡洋子様(頌栄短期大学・准教授)、中村文香(大阪大学大学院人間科学研究科)</p> <p>【社会福祉法人光朔会】山口 元(理事長) 【オリンピア灘】山口裕子(保育事業本部長・ホーム長)</p> <p>【オリンピア兵庫】西塚裕真(グループホーム管理者)</p> <p>稲田麻里(ユニット1リーダー)、高田茉依(ユニット2リーダー)</p>		
配付資料	<p>レジュメ、月刊オリンピア兵庫121号・122号(2016年7月・8月発行)</p> <p>神戸いのちの電話広報誌</p>		
議 事			
<p>1. ごあいさつ(西塚裕真・グループホーム管理者)</p> <hr/> <p>2. 運営推進委員の自己紹介(各出席者)</p> <hr/> <p>GH1の嶋田尚子様が初めて参加してくださいました。今回は4名のご入居者の方にご出席いただきました。</p> <hr/> <p>3. 行事のご報告(西塚裕真・グループホーム管理者)</p> <hr/> <p>毎週、介護等体験の学生さんが来て下さったり、中国から視察団の方々が見学に来てくださいました。7月2日には、兵庫・生と死を考える会主催による講演会「人生の中の喪失と悲嘆」というテーマで講師に元サッカー日本代表監督である岡田 武史氏をお迎えし、監督として、また、経営者としてのご自身の経験をお話していただきました。</p> <p>また、毎年恒例となっている、大阪フィルハーモニー交響楽団でご活躍されていたバイオリニストの近藤 緑氏、井登志子氏、鷲見周子氏、前田はるみ氏をお迎えし、ハワイアンをテーマにバイオリンコンサートを開催した。</p> <p>前GH管理者の市田さんも特別出演で踊ってくださいました。</p> <hr/> <p>4. ユニットからのご報告(稲田麻里・ユニット1リーダー、高田茉依・ユニット2リーダー)</p> <hr/> <p>(稲田)6月は昔を思い出してあやとりをしたり、三橋様が以前運営推進会議で、天野様の「私にも作ってくださいね。」というお言葉を覚えておられ、吉本様と天野様にお揃いのマフラーを編んでくださいました。父の日にはCafe Olympiaのケーキでお祝いをさせていただきました。気分を変えて銭湯にでかけると、恥ずかしいとお風呂になかなか入っていただけない方に入らせていただくことができました。近所で人気の食堂にランチへ行ったり、サッカー観戦にでかけるなどした。7月はゴルフのパターの練習や大きな氷を作って、かき氷を作ったりした。産休中のスタッフが赤ちゃんを連れてきてくれ、川本様は看護婦をしていた時のことを思い出されていた。三橋様はお友達に会いにお出かけされたり、中田様は姪御様が紹介してくださいました近隣の美容院にカットにでかけたり、The rocket gold star×Suttaのワークショップに出かけてシルクスクリーン体験をした。9月に上海旅行を計画している。</p> <hr/> <p>(高田)7月より、GH2のユニットリーダーを務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。6月は近隣にお買</p>			

議 事

い物にでかけたり、ドライブに出かけた。7月はバイオリンコンサートにハワイアンがテーマということでアロハシャツを着て参加した。小田様のお部屋は西日が強いので、スタッフがすだれを持ってきてくれた。すだれを付けたところ、過ごしやすい環境となった。普段はノエビアスタジアムのグラウンドには入れないが、今回グラウンドを開放しており入ることができた。

5. 意見交換

山口館長「9月12日から14日に上海旅行を計画している。安心して参加していただけるように準備を進めている。9月3日に毎年恒例となっている、笠松商店街ふれあいまつりにCafe Olympiaが出店する。9月16日には昨年に引き続き夜カフェを開催する。8月に絵本を出版されたThe rocket gold star氏をお迎えし、出版記念トークイベントをおこなう予定。

吉岡氏「中国視察団が見学に来られたとのことだったが、どういったところをポイントに見学されていたか？」

山口館長「ヨーロッパの方は理念についてよく聞かれるが、アジアの方は食事はどうやって提供しているのかなど細かいところを聞かれる。」

木村氏「暑い日が続いているがみなさんお元気に過ごされていると感じた。上海旅行は何名で行くのか？」

山口館長「ご入居者2名とスタッフ2名。三橋様も参加される予定。」

山口理事長「8月27日に六甲アイランド サマーイブニングカーニバルに岩屋・住吉が参加する。毎年、3万人が訪れるので、オリンピアをPRする。7月2日の生と死を考える会主催による講演会で岡田監督は、全日本代表チームの監督の時よりも今の会社の社長の方が社員の家族の命まで預かっているのでプレッシャーだという言葉に私も350人のスタッフの家族の生活も背負っているので共感した。神戸いのちの電話の広報誌に「ノーマライゼーション社会の実現を目指して」というテーマで書いた。6月に掲載されたが、そのすぐ後に神奈川県障害者施設で19名が殺害される事件がおこった。まさにここに書かれている通りだと反響が大きく、多くの方からご連絡をいただいた。ノーマライゼーションとは、高齢になっても、障害があっても、病気があっても死が迫っていても、人には『ふつうの送る権利があり、社会にはしの生活を支える責任がある。光朔会でもいつも常務理事が言っており世界の福祉がそういうであるが160人の知的障害者をひとつの施設に集めているのは先進国ではあり得ない。こういったことをしていると職員が利用者を差別するようになる。兵庫のGHで行っているケアを世界中で目指しているなかで大きな特別養護老人ホームをどんどん建てている日本は間違えた方向に進んでいると感じる。

○第62回運営推進会議 10月8日(土)10:00